

可視化情報シンポジウム原稿テンプレート (和題:ゴシック 16 pt) —和文副題:ゴシック 14 pt—

可視化 太郎[○] (可視化情報大学), 情報 花子 (可視化情報(株))

An Example of the Manuscript for the Visualization Symposium Japan (Times New Roman 16 pt) —Subtitle (Times New Roman 14 pt)— Taro KASHIKA and Hanako JOHO (12 pt)

ABSTRACT

This template is a guide to prepare manuscript for Visualization Symposium Japan. Use Times New Roman (10 pt). The abstract length should be approximately 150 words. *****

***** 《150 語程度の英文 ABSTRACT 及び 5 語以下の Keywords を記入してください。文字の大きさは 10 pt, 字体は Times New Roman, 行間は 1 行分 (シングルスペース) です。》

Keywords: Visualization, Digital image processing, * <5 語以下> *, * <Less than 5 Keywords> *, ****

1. 序 論

本原稿は、可視化情報シンポジウムの原稿テンプレートです。原稿執筆にはこのテンプレートをご使用ください。原稿サイズは A4 版とし、ページ数は任意ですがファイルサイズは 5 MB 以下としてください。ページ余白は、上 25 mm, 左 20 mm, 右 20 mm, 下 20 mm とし、表題は 3 行目から始めてください。ヘッダーにはシンポジウム情報を入れ、フッターは入れないでください。

2. 文字及び改行

2.1 文字の大きさと改行

使用言語は日本語または英語とします。和文原稿の場合、題目、著者名 (発表者に上付き「○」を記載)、所属を和文で書き、続けて題目、著者名の英文名を記入してください。英文原稿の場合、題目、著者名の英文名を記入してください。なお、和題・英題は講演申込時と同じであることが必要です (異なる場合、プログラムや講演論文集の目次には講演申込時の題目が使用されます)。

日本語著者名は 11 pt としてください。本文は 9 pt の 2 段組みとし、片側 25 字 × 50 行、段間は 10 mm を基準としてください。章間の行間は 2 行分 (ダブルスペース) とし、その中央に章名を 10 pt で記し、節間は行を空けないようにしてください。

2.2 字 体

題名、章・節名はゴシック体、本文は明朝体、英文題名・著者名、本文中の英文は Times New Roman とします。参考文献¹⁾ は 7 pt で表記ください。また、各参考文献に「<https://doi.org/DOI> 番号」形式でリンクを付与することも可能です。

3. 図 表

本文中の図表の表記には、Fig. 1 と Table 1 のように、図表には通し番号をふり、Arial としてください。キャプションは表の場合は上部に、図の場合は下部に記し、ラベルと番号は Arial、説明文は英文 Times New Roman で書きます。

4. 原稿提出

本テンプレートで作成した講演原稿 (PDF 形式) をシンポジウム HP の案内に従って提出して下さい。

Table 1 Sample of table. (先頭のみ大文字、最後にピリオドを加える)

--

--

Fig. 1 Sample of figure arrangement. (先頭のみ大文字、最後にピリオドを加える)

参 考 文 献

- 1) 可視化太郎, 情報花子, 可視化情報, **100** (1998) 115.
- 2) [T. Kashika, H. Joho, J. Visualization 10 \(1999\) 10.](#)
- 3) 可視化次郎, 書籍引用法 (第 2 版), VSJ 出版 (2000).
- 4) J. Kashika, S. Kashi, G. Kashi, *Proc. of xxth Int. Symp. Flow Visualization* (1999) CDROM v3607.